

# 残そう 私達の真田町 だいじな 町だから

(前号のつづき)

私たち「真田町の合併と自立を考え  
る会」は、真田町は真田町として残し  
ていきたいという想いを強く持ってい  
ます。おおかたの町民も「残せるも  
のなら残したい」と願っています。し  
かし箱山町長は、先日行われた住民ア  
ンケートの結果を無視して、「合併を  
進める」方針を変えようとしていませ  
ん。一方、箱山町長は、真田町が生き  
て残るための方策はないとばかりに、  
初めから今に至るまで、「合併以外無  
い」と言うだけで、自立のための模  
索さえしていないのではないでしょ  
うか。研究や努力をぬきにしては具  
体的な方策が生まれるはずはありま  
せん。今からでもけっして遅すぎる  
ことはありません。町民とともに真  
田町を残すための真剣な取り組みを  
しようではありませんか。今号も前  
号に続いて「箱山町長への質問」を  
載せたいとおもいます。一緒に考え  
ましょう。

## 問 4 質 その

**国はいま、「三位一体の改革」という議論をしています。  
しかし、その行く方は混沌としています。合併しても  
合併しなくても今より負担が重くなります。急いで合  
併しなくてもいいのではありませんか**



自治体の財政は今年も縮小  
させられています。そしてこ  
れからもいつそうの締め付け  
が進められることでしょう。  
しかし国は合併を急がせなが  
ら、自治体財政をどうするの  
かという基本問題さえ決めて  
はいません。

すが、地方交付税についても  
補助金についても、ましてや  
地方に移譲する税金をどうす  
るのかについても決められな  
いでいます。

ます。しかしこの期限を切っ  
てしまうことは「合併しなく  
てもいい」に等しいことにな  
るので「合併特例法」を廃止  
することは考えにくい事です。

しよう。合併を進めている小  
泉内閣がいつまでも「安泰」  
でいられる保証もありません。

しかし国は市町村民税の増  
額を決めました。それによっ  
て真田町の均等割の町民税、  
現在2000円が4000円  
に倍増にされます。介護保険  
税もびつくりするほど増額さ  
れています。

税源移譲は先送りという地方  
いじめの数字合わせになって  
いるからです。当然のごとく  
に県や市町村からの批判や反  
発を受けています。ですから  
「三位一体」の合意を得ること  
は短時間で出来るものではな  
いでしよう。

町は合併特例債利用によって  
いくら得するというような計  
算をしているようですが、全  
国の合併自治体が合併特例債  
をめぐれば利用したら国の  
借金が増え、破産すると言わ  
れています。

い抱え込みながら合併を急ぐ  
必要がどこにあるのでし  
か。合併によって失敗したら  
誰も責任の取りようはありま  
せん。「特例債のあるうちに」  
と急いで合併を進めるのでは  
なく、状況を見極め、落ち着  
いて判断できる時期を待つ勇  
気が求められるのではないで  
しょうか。

このように住民の負担増だ  
けは確実に実施するのが国の  
やり方です。また「三位一体  
の改革」をするといっている

また「合併特例法」の期限  
が17年3月までといわれ、合  
併を急がせるアメになってい

の市民がアクセスしやすい中  
心部に施設を重点配置するこ  
とになるのには目に見えていま  
ることは

## 問 5 質 その

**大きい町になると私たちの生活にとってどんなことが  
有利になるのでしょうか。人の住むところは、自然豊  
かで、身近で、小さい町こそ人間らしく生きることの  
出来る場所でなければならぬとは思いませんか**



自治体の規模が大きくなれ  
ばなるほど住民との間が遠く  
なります。

深める大きい原因になります。  
役場が近くにあるという安心  
感こそ大事なことでないでし  
ょうか。合併の目的が経済

す。そうしなければ、それこ  
そ大勢の人から「公平にやれ」  
といわれることになるからで

はつきり言え  
ることは  
△地域に目配り  
できる議員が少  
なくなるこ

高齢化社会が進むほどに、  
自治体が遠くへ行ってしまわ  
れては住民にとっては不安を

とですから、どうしても多く

そ大勢の人から「公平にやれ」  
といわれることになるからで

△地域に目配り  
できる議員が少  
なくなるこ



## 問6 質そ

**任意合併協議会でのいままでの話し合いによって何が決められ何が決められなかったのでしょうか。ほとんどの事項が「先送り」され、「合併してからでなければわからない」のが実情ではないのでしょうか。合併してからでは遅すぎるのです**

△知り合いであった役場職員は年々少なくなっていくこと  
△地域のことを専門に考え、行政に反映させる人が確実に減ること  
△真田の農業や菅平の観光を身近に理解できる議員がいなくなる可能性が大きいことなど  
そのうえ住民の目線に立ちきれず、住民を蔑視したりする行政担当者であったりしたら弱者切り捨ては確実にすすむでしょう。  
町長は「地域自治センターや地域審議会という組織を作るから住民の意見を十分に聞いて判断できます。これが分権型合併です」と言いますが、真田の地に責任を持つ独自の予算を決定できる組織、執行権限を持った組織を作るとでもいうのでしょうか。  
小さくても元気に、自然と共生しながら生きていく町作りをしている先進地域の研究はしたのでしょいか。町長が最初にやるべきことは、これからを輝いて生きる真田町にする方策を町民とともに作り提示することではありませんか。

真田町作成の冊子による、任意合併協議会が話し合った「協議事項、調整方針」の文章をみますと、実に様々な表現が使われています。

ちなみにあげてみますと「合併時に統一する」「合併時に統一し実施する」「調整し統一する」「調整し統一を図る」「再編成する」「合併時は現行の通りとする」「現行の通り」「合併後新たに策定する」「合併後調整を図る」「新市において早急に調整する」

複雑な問題が多いのだろうとは思いますが、多くの町民にはその違いは分かりません。特に大事な問題点についても例えば、「水道料金は5年目途に」下水道料金も同じ、「介護保険料金は平成18年から」「保育料は3年間現行で」「保育園バスは合併時は現行で」「ゴミ収集車は5年以内に」となっており、ほとんどが先送りされています。

また一般職の身分の扱いについては資料が掲載されていますが、特別職についての資料がないのはどうしてなのか。現在重

要な役割を果たしていると思われる広域連合についての検討はどのようなにされたのか。水道料金は真田町は「よって安くなる」と予想していますが、上田市民はどうなるのか。などなど

### ピックアップ 町民の声

私たちは署名活動の中で次のような声を聞きました。

- 「上田市になれば税金の滞納取り立てなどはようしやなく出来るようになるだろう。ねらいはそんなところにもあるのでは」
- 「首長が変わればどうなるのか分からないのが普通。約束なんかひっくり返すことはいくらも出来る」

の争点にすればよかったのに」

- 「学校がつぶれる？本当につぶされるのか、つぶせるのか、つぶしてみればいい」
- 「町長は高圧的でワンマンだから町職員にも圧力が加かっているだろうよ」

- 「金を使ってアンケートをとっておきながら、結果を尊重しないのでは私たちはなんのためにアンケートに答えただ。町民の声を無視するならリコールだ」

町長は町民のこんなつぶやきにも耳を傾けて下さいますか

